

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)神奈川歯科大学附属病院新築計画	階数	地上12F
建設地	横浜賀木小川町1番23、大海町一丁目21番7、大海町一丁目22番2	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,000 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	学校、病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年8月 予定	評価の実施日	2015年10月30日
敷地面積	2,943 m ²	作成者	日揮株式会社1級建築士事務所
建築面積	2,483 m ²	確認日	2015年10月30日
延床面積	15,658 m ²	確認者	日揮株式会社1級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 3.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.5

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		その他
総合 設備機器やシステム等は、積極的に省エネ対応のものを選択するとともに、環境負荷が極力小さくなる建物づくり		
Q1 室内環境 音環境の向上(界壁遮音性能の向上) 空気質環境の向上(F☆☆☆☆建材の採用、全面禁煙など)	Q2 サービス性能 機能性の向上(個室10㎡/床以上の確保) 心理性・快適性の向上(天井高確保、内装計画事前検証) 耐用性・信頼性の向上(耐用年数の長い外壁材・配管材の使用、通信手段の多様化など)	Q3 室外環境(敷地内) 街並み景観への配慮(ボリュームの操作、屋上庭園) 地域性への配慮、快適性の向上(ピロティ状の車寄せ、イベントスペース) 主たる建築設備に高温排熱の伴うものを用いない。
LR1 エネルギー 高効率機器の採用 LED照明の採用	LR2 資源・マテリアル 水資源保護(自動水栓、泡沫水栓、節水型大小便器の採用) 非再生性資源の使用量削減(スケルトン・インフィル、二重床と設備スペース)	LR3 敷地外環境 交通負荷抑制(荷捌き駐車場の確保など) 光害の抑制 緑地の確保

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される